

磐城民友新報

五日、廿日發行
發行所 丸山春藏
印刷所 磐城民友新報社
料告廣 場所指定 十錢増

鋼酒は

清世界

小名濱町
清水本店

鷺清昇氏

氏は元縣會議員植田町長
重任を負ひ縣治の爲盡
方し其偉業隆々たるもの
ある。氏は現業古より酒
家としての優良酒造は縣
下に於ける高き香りをな
ちつゝあり

温厚な縣會議員

小松章氏

勿來町消防組頭、製氷會の代る事なきは勿論或はそ
社社長として重任を授けられを凌駕するの蓋ありと云
ある小松章氏は先年縣會のはれ性格温厚にして機敏、
選舉に際し數千の同情を得將來勿來町には囑望され
て當選し更に重荷を一つ負青年政治家で恐らく新議員
された。然し氏は献々とし中では最年少者であらふ。
て農夫の様に自己の天職を温厚な紳士ではあるが事業
全う仕様と努めてゐる。縣等に對しても機を見るに敏
會議員として一年生ではあに將來を期待されてゐ
るが政治的識見の抱負な點。
では他の古くはものと何等

河田梅吉氏

平町鐵工業界の模範工場
主は第一として我が敬愛す
る河田梅吉氏を指すもので
あらう。
氏は幼年時代より鐵工業
の有望なる事を看破する氏
は各種鐵工場に入り唯々其
研鑽意なくよく其業に通じ
るに至りて釜清工後を譲り
受け縦横なる才腕を發揮徐
々と其の回復に努力し今や
奥羽六縣下工業界を風靡す
るの隆盛を見るは云ふ迄も
なく氏の達觀せる所謂業眼
と店員以下従業員との協力
一致に河田王の創建せし
らぬ者はなし。

遠山稻吉氏

氏は平町鐵工業者として
事業隆々たる事縣下に風靡
し其事業の内容たるや模範
とするにたるものである。
先年古鍛冶町より現在の
長坂に轉居擴大なる工場を
建設し現在では數十名の職
工を使用せしめ財界の沈靜
や工業界の不振をも物とも
せず職工を指導し督勵し工
場主共に協力同心を以て事
業の向上に努力せられつゝ
ある今や其勢力と進展と信
望は旭日の昇るが如く一大
勢力の感あり。

金成金三氏

植田町警東銀行は附近の
町村の中小工業者の唯一金
融機關であるか金成金三氏
の着任となるや腕と頭は一
時々勢に乗り込躍躍大の一
途にあり地方工業會に益々
存在を認められ弱者の味方
として活躍をつづけてゐる
氏は勿論警東銀行は株主配
當高は東北銀行の一と稱さ
れてゐる。

平町紺屋町
辯護士 眞木恒

電話五六七はこり得る所以だ。

更生の道を開く

好間村長 金成淺治氏

二度村民大衆の信望を荷
ふて村長に重任されつゝあ
る人格者金成淺治氏は縣下
の名村長たる事は世人は云
ふまでもなく氏は前助役
木榮一氏と共に村農會員其
他村民と協力の下に村政の
發展と向上に努力しつゝあ
る金成淺治村長の指導的力
量、其熱ある斷行には村民
の村長時代助役として任期
満了に至るまで村の爲に
奮闘の結果大なる効成績を
得たる事は云ふまでもなく

伊藤庄助氏

氏は手腕力量人格に於て
は何人にもとらざる人物
は先年木田彌作氏
の村長時代助役として任期
満了に至るまで村の爲に
奮闘の結果大なる効成績を
得たる事は云ふまでもなく

秋山市造商店

泉驛前 太田屋

阿部醫院

錦村人絹工場前
御料理 昭和館

双葉郡大久村
谷地 泉 館 旅 湯 野 上

磐城勞友會の會報

磐城勞友會は去る十月十六日午後六時より平町
聚樂館に於て盛大なる發會式を上げると共に會員
慰宴の爲活動大寫眞を開催し同夜十一時閉會した
會長 渡邊一郎 副會長 佐竹藤助
會計 木村清三郎 相談役 藁谷鶴壽
太田徳男

右之通嚴定候也

綱領

趣意書

一、我等ハ公共土木勞働者ノ大同團結ヲ計リ全國
的總聯合ヲ目標トス
一、我等ハ會員ノ協力ニヨリ生活向上ヲ計ルト共
ニ勞働者ノ解放ヲ期ス
一、我等ハ相互扶助ノ精神ニ基キ共同福利ノ増進
ヲ期ス
資本主義矛盾ノ道程ヲ辿リ民衆ヲ極度ニ脅威セシ
メ制止スルトコソナキ世界恐慌ノ波ハ完全ニ資本
主義ノ没落ヲ現實化シタ今ヤ三千萬ヲ超ユル勞働
者ノ大衆植民地全道ヲ貫ク窮乏農民ハ資本主義打
倒ノ尖銳ナル大軍ヲ形成シテ居ル資本主義ノ矛盾
ハ最早資本主義自體ニ依テ古服スル事ハ出来ヌ無
産階級ガソノ使命ヲ遂行ス可キ機運ガ刻々ニ熟シ
ツ、アルガ此度磐城ノ天地ニ於テ斯ル狀勢ト意識
ノ徹底ニ依テ階級的的結合ヲ見タル磐城勞友會自體
其ノ者ハ政黨腐蝕運動其他一切反動主義ヲ蹴破シ
勞資協力主義ヲ以テ勞働者一般ノ生活ヲ擁護シ自
力更生ニヨツテ主体ヲ高揚シ客觀的狀勢ニ反映シ
強固タル城砦ヲ育成シ會員諸氏ト共ニ奮闘經濟國
難ヲ打開シ以テ一切無産階級ノ解放ヲ期スコトヲ
目的トシテ磐城勞友會結ノ指旨トス。

芳本旅館

電話 五八三番

郡下温泉案内

鶴屋旅館

電話 十一番

萱手の湯は常磐線泉驛より浴舎は清浄にして背後は突り西兩約十丁余にして貸切立せる山を負ひ東南は廣漠自動車便あり通路は山亦たる耕池にして小鬱をへだ山を越いて山頂閑靜の地に海を受けたれば風景の美あり泉質は鹽類泉にして腦と共に空氣清浄にして静養病眼病皮膚病に特効あり、に適せり

波

◆浴川醫波効用

福島縣石城郡大野村字白岩にあり通路の便よろしく四倉驛より一里にして自動車便あり泉質効能分拆の結果

- 一、クロールカリウム 〇、〇〇九三
- 一、クロールナトリウム 〇、〇〇七四
- 一、硫酸マグネシウム 〇、四九二〇
- 一、ナトリウム 〇、一五四四
- 一、硫酸亜酸過鐵 〇、〇五〇三
- 一、カルチウム 一、五三〇八
- 一、硫酸アルミニウム 〇、三三八〇
- 一、メタ珪酸 〇、〇八九三

遊離硫酸 痕跡

福島縣石城郡大野村字白岩にあり通路の便よろしく四倉驛より一里にして自動車便あり泉質効能分拆の結果

- 一、クロールカリウム 〇、〇〇九三
- 一、クロールナトリウム 〇、〇〇七四
- 一、硫酸マグネシウム 〇、四九二〇
- 一、ナトリウム 〇、一五四四
- 一、硫酸亜酸過鐵 〇、〇五〇三
- 一、カルチウム 一、五三〇八
- 一、硫酸アルミニウム 〇、三三八〇
- 一、メタ珪酸 〇、〇八九三

遊離硫酸 痕跡

折木湯

つるや旅館

若松屋旅館

仲屋旅館

折木の湯は双葉郡廣野村大字折木にあり廣野驛より西北一里余にして乗合自動車便あり主治効能 婦人血の道の名湯にして春秋を問はず御婦人方何れも満員

◆白米鑛泉

勿來驛より一里白米鑛泉は石城郡窪田村大字白米にあり、一名鶴の湯と稱す、窪田町を距ること二十町許り泉質は鹽類泉にして打身切傷火傷等に偉効あるを以て其名古くより遠近に知られ、此等患者の來り浴するもの年を追ふて増加す

◆三坂鑛泉

平驛より五里三坂村大字三坂字湯の本にあり單純泉にして胃病リユウマチス火傷切傷等に奇効ありて其名聞ゆる憾むらくは通路險惡の故に老幼の方々に不便を與へて居る事だけが遺憾である

高野 中野湯旅館

高野鑛泉は（綴驛より一に特効あり浴客遠近より集里十丁にして）痔疾の名湯ひて常に絶ゆることなしにして全國に聞ゆ高野鑛泉は千の浴客實に二萬數千に永戸箕輪組合村にあり綴驛より土地高燥にして空氣清驛より西北一里余にして浴淨四方の風景明媚にして静場は中の湯、入の湯とに分閑仙境の趣あり客舎の完備れ共に惡兒加里性炭酸泉に相俟ちて静養に適せりして痔疾胃病脚氣皮膚病等

玉山溫泉

石屋旅館

四倉、草野兩驛より自動車便あり

◆小川鑛泉

勿來より一里余川部村大字小川の地に於て二鑛泉の湧出あり一を鹿の湯といひ、一を佐倉の湯と稱す、共に弱鹽類泉にしてリユウマチス火傷痔疾等浴客によりて賑ふ

川崎活版所

平町新川町 電話二八六番（呼）

金成醫院

院長醫學士 金成忠義
平町鎌田町 電話三五八番

高岡屋商店

平町研町 電話四〇九

平川醫院

江名町 電話二六

石井醫院

小名濱町 久保田醫院

久保田醫院

小名濱町

松村醫院

平町南町 電話七〇一

胃腸性病科

湯本町 龍倉醫院

高久病院

平町田町 電話五一三

丸本家具店

平町三丁目 電話二五九 製造所一八二

國産品外來品 銅鐵金物問屋

釜屋商店

磐城セメント會社特約代理店 三井生命保險平代理店 電話九番 東京振替貯金口座一〇九五六 質の確實と廉賣は當店の生命

專門 皮膚科 泌尿器科 性病科

江尻醫院

醫學博士 江尻伊三郎 平町田町（舊山内醫院跡） 電話六九一

開院廣告

内科 院長醫學博士 長谷部喜久
小兒科 醫學士 多田壽雄
外科 醫學士 市川繁
喉科 性病科 東京醫學士
産婦人科 醫學士 草刈邦彦
レントゲン科 醫學博士 長谷部喜久
藥局長 藥劑師 吉本孝平
事務局長 高畑清志
◆診療時間 自午前八時 至午後六時
◆往診午後（急患は此の限りに非ず）
（病室完備 入院隨意）
磐城共濟病院 平町 電話六四一番